

2 男女共同参画・ワーク・ライフ・バランス・女性活躍について

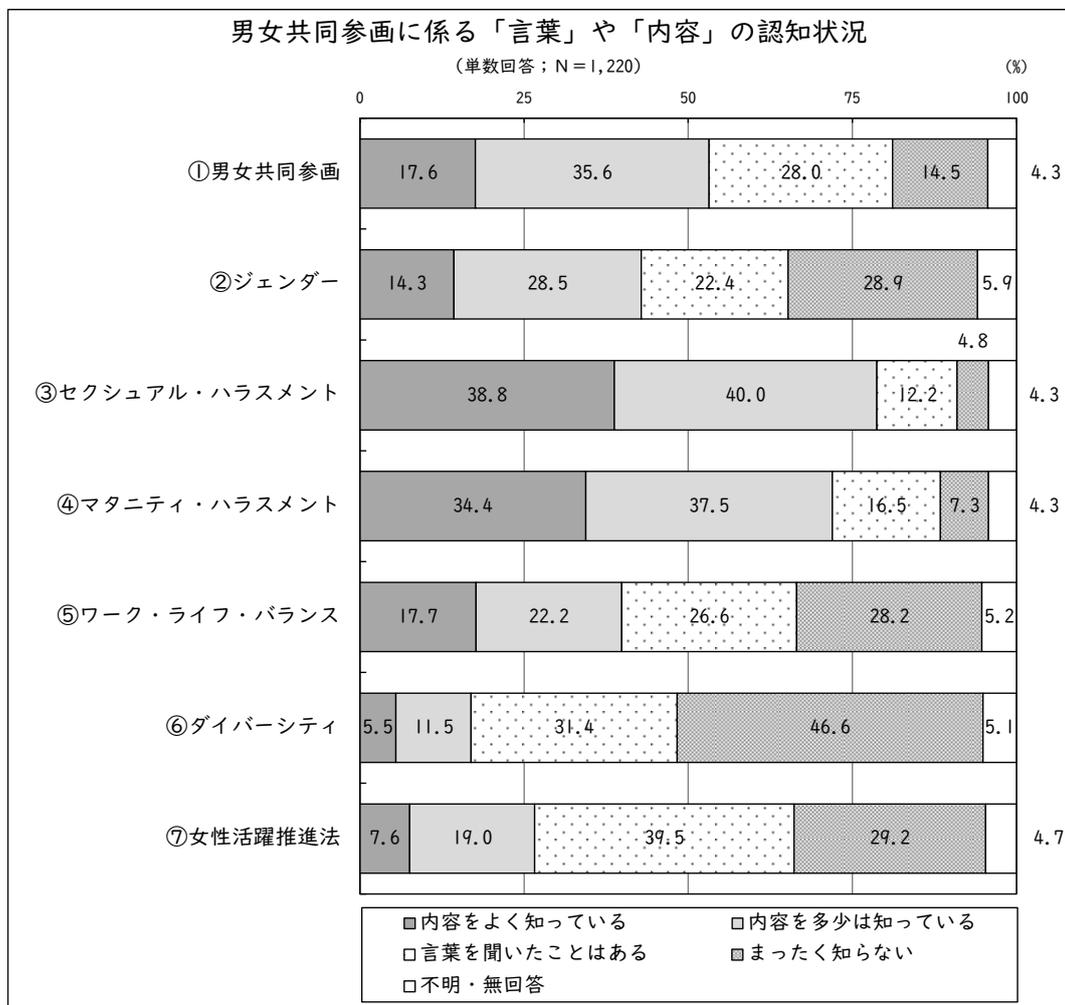
(1) 男女共同参画に係る「言葉」や「内容」の認知状況

① 男女共同参画に係る「言葉」や「内容」の認知

「問 10」 あなたは、次にあげる「言葉」や「内容」をご存じですか。(○はそれぞれ1つずつ)

男女共同参画に係る「言葉」や「内容」の認知状況について、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合をみると、最も多いのは「セクシュアル・ハラスメント」で78.8%、以下、「マタニティ・ハラスメント」が71.9%、「男女共同参画」が53.2%と続いている。

「まったく知らない」についてみると、「ダイバーシティ」が46.6%で最も多く、以下、「女性活躍推進法」が29.2%、「ジェンダー」が28.9%と続いている。



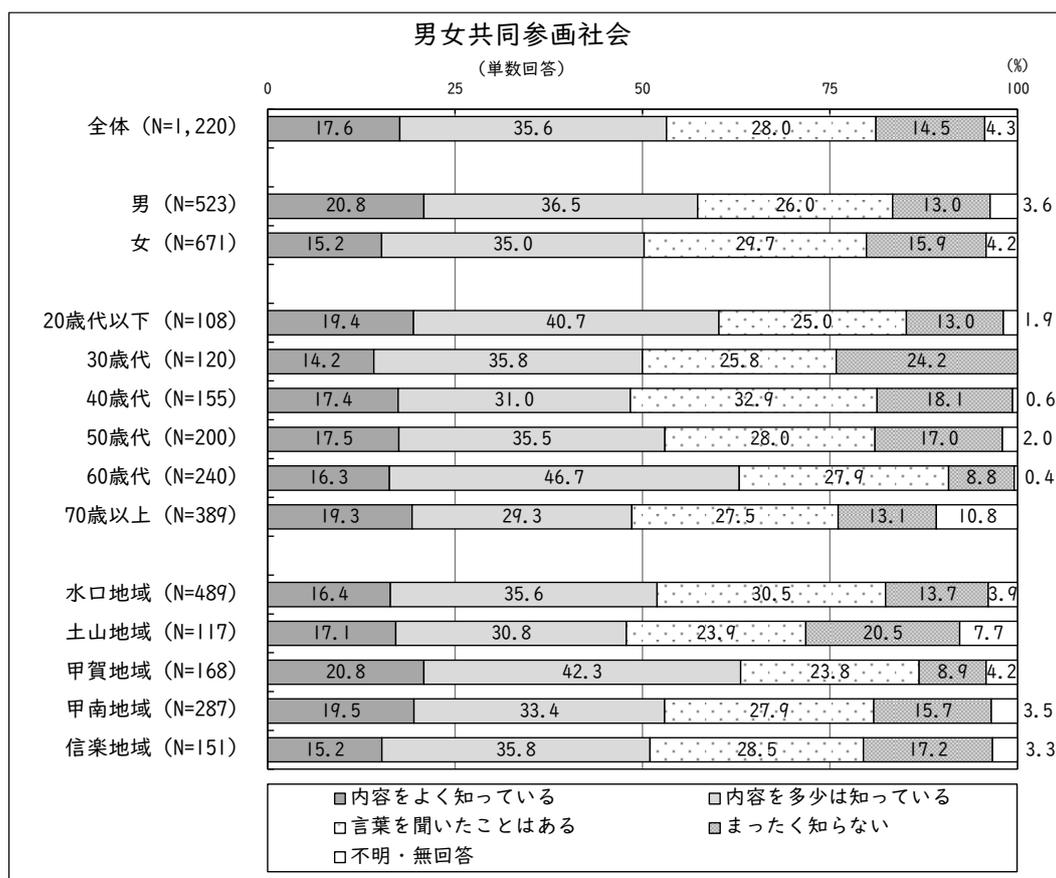
② 男女共同参画社会

「内容を多少は知っている」が 35.6%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 53.2%となっている。また、「まったく知らない」が 14.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 57.3%、女性が 50.2%と、男性が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 63.0%、以下、20 歳代以下が 60.1%、50 歳代が 53.0%、30 歳代が 50.0%、70 歳以上が 48.6%、40 歳代が 48.4%と続いている。30 歳代で「まったく知らない」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 63.1%、以下、甲南地域が 52.9%、水口地域が 52.0%、信楽地域が 51.0%、土山地域が 47.9%、と続いている。土山地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



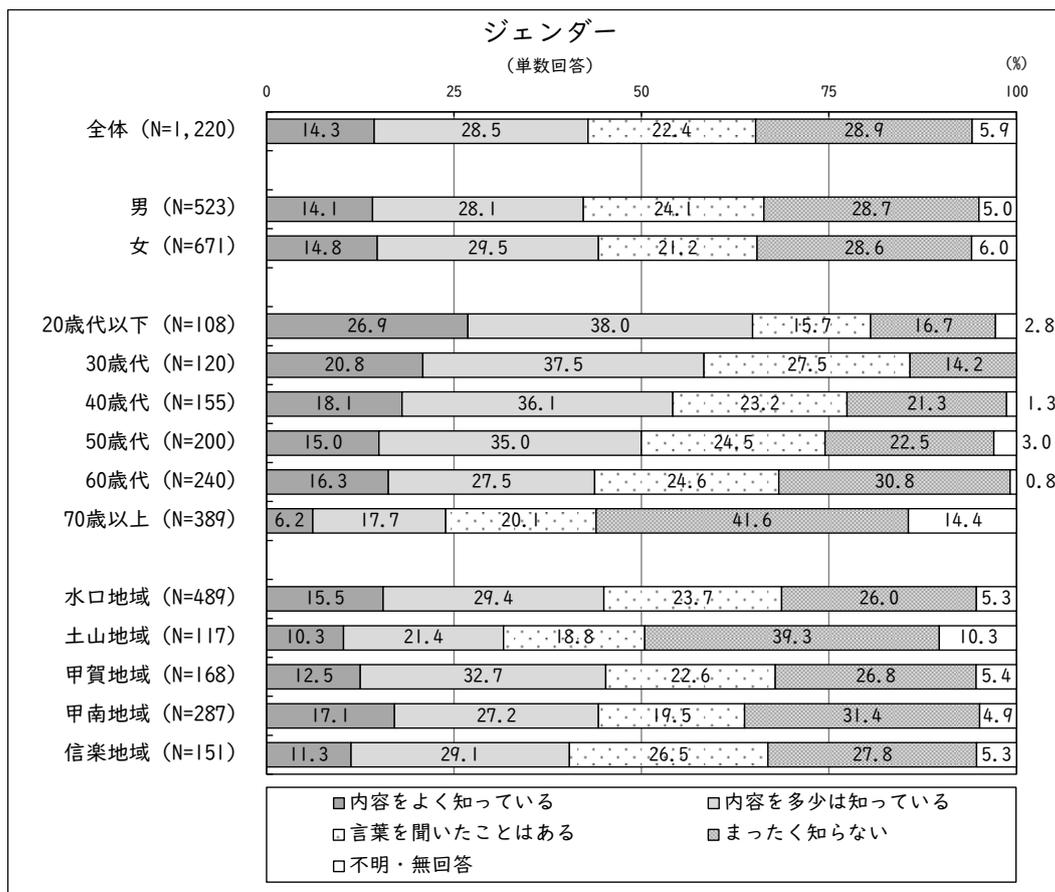
③ ジェンダー

「まったく知らない」が 28.9%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 42.8%となっている。

性別にみると、男性は「まったく知らない」が、女性は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が42.2%、女性が44.3%となっている。

年代別にみると、50歳代以下は「内容を多少は知っている」が、60歳代以上は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で64.9%、以下、30歳代が58.3%、40歳代が58.3%、50歳代が54.2%、60歳代が43.8%、70歳以上が23.9%と続いている。年代があがるほど『知っている』が少なくなっている。70歳以上は「まったく知らない」が41.6%となっている。

居住地域別にみると、水口地域、甲賀地域、信楽地域では「内容を多少は知っている」が、その他の地域では「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で45.2%、以下、水口地域が44.9%、甲南地域が44.3%、信楽地域が40.4%、土山地域が31.7%と続いている。土山地域、甲南地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



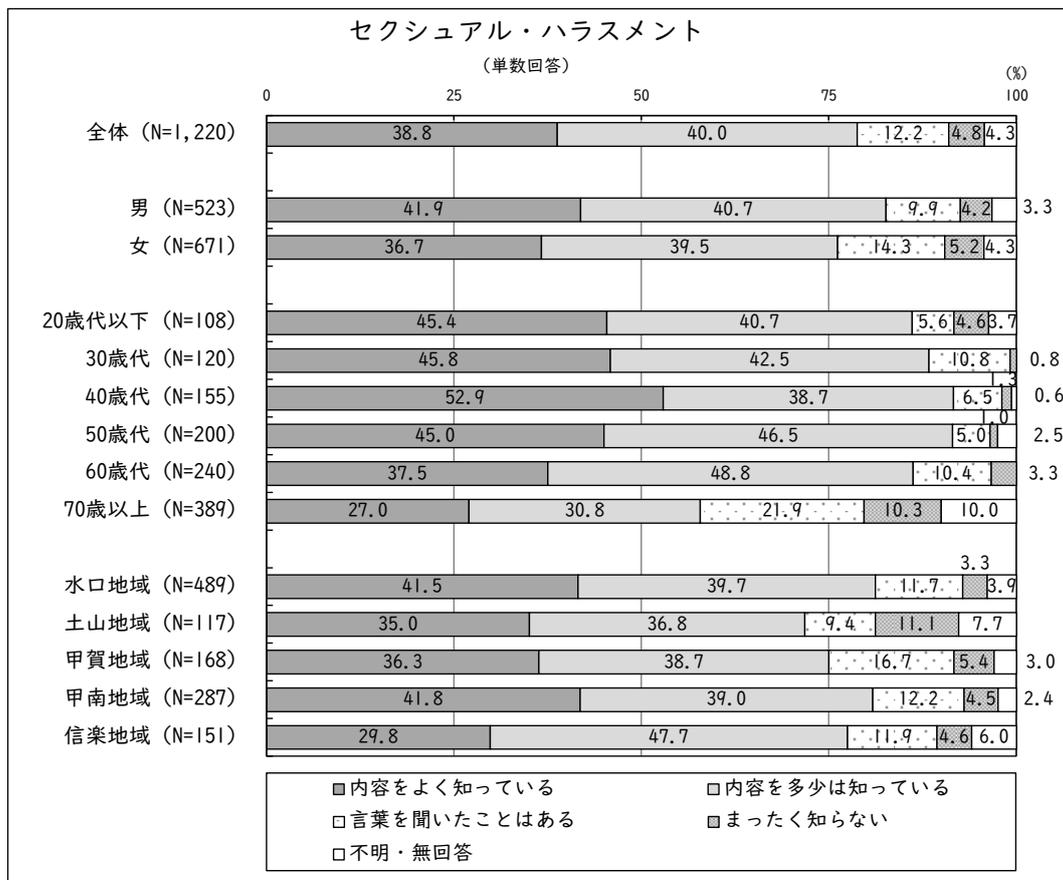
④ セクシャル・ハラスメント

「内容を多少は知っている」が 40.0%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 78.8%となっている。また、「まったく知らない」が 4.8%となっている。

性別にみると、男性は「内容をよく知っている」が、女性は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 82.6%、女性が 76.2%と男性が多くなっている。

年代別にみると、40 歳代以下は「内容をよく知っている」が、50 歳代以上は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 91.6%、以下、50 歳代が 91.5%、30 歳代が 88.3%、60 歳代が 86.3%、20 歳代以下が 86.1%、70 歳以上が 57.8%と続いている。70 歳以上は「まったく知らない」が 10.3%となっている。

居住地域別にみると、水口地域、甲南地域では「内容を多少は知っている」が、その他の地域では「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 81.2%で、以下、甲南地域が 80.8%、信楽地域が 77.5%、甲賀地域で 75.0%、土山地域が 71.8%と続いている。土山地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



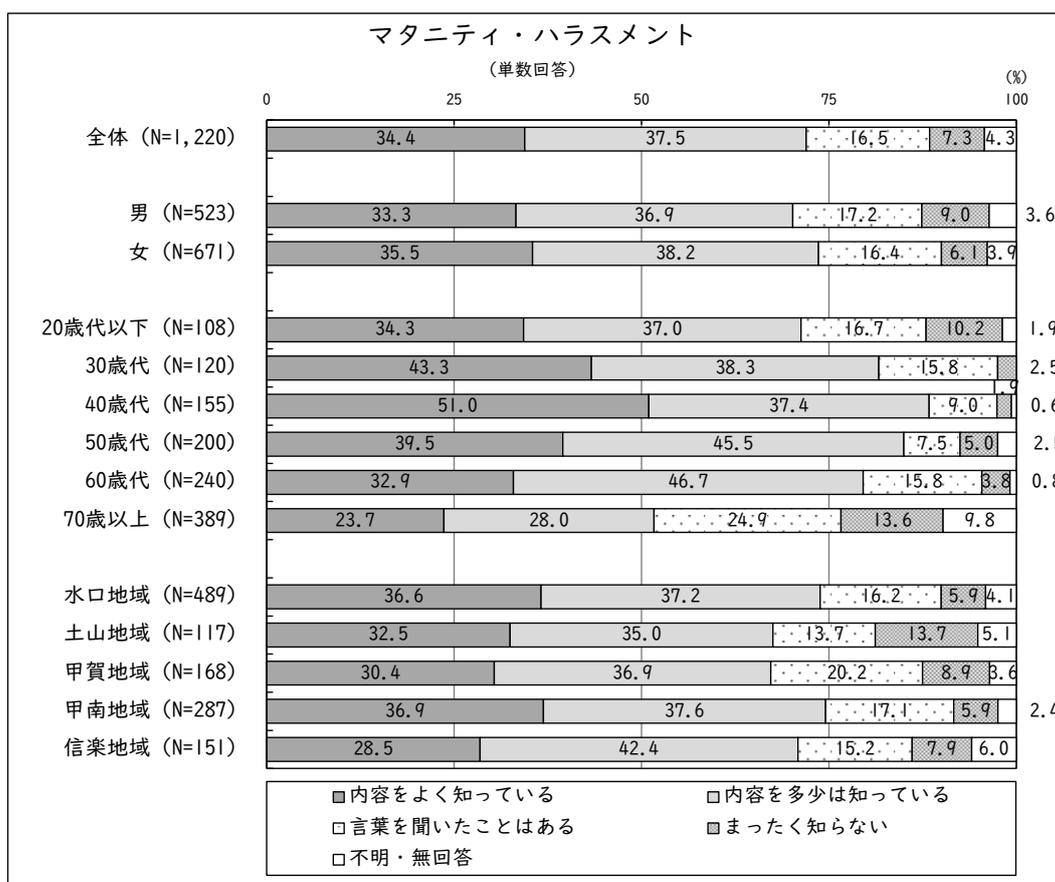
⑤ マタニティ・ハラスメント

「内容を多少は知っている」が 37.5%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 71.9%となっている。また、「まったく知らない」が 7.3%となっている。

性別にみると、男性は「内容をよく知っている」が、女性は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 70.2%、女性が 73.7%となっている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代以下は「内容をよく知っている」が、その他の年代は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 88.4%、以下、50 歳代が 85.0%、30 歳代が 81.6%、60 歳代が 79.6%、20 歳代以下が 71.3%、70 歳以上が 51.7%と続いている。20 歳代以下、70 歳以上は「まったく知らない」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 74.5%、以下、水口地域が 73.8%、信楽地域が 70.9%、土山地域が 67.5%、甲賀地域で 67.3%と続いている。土山地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



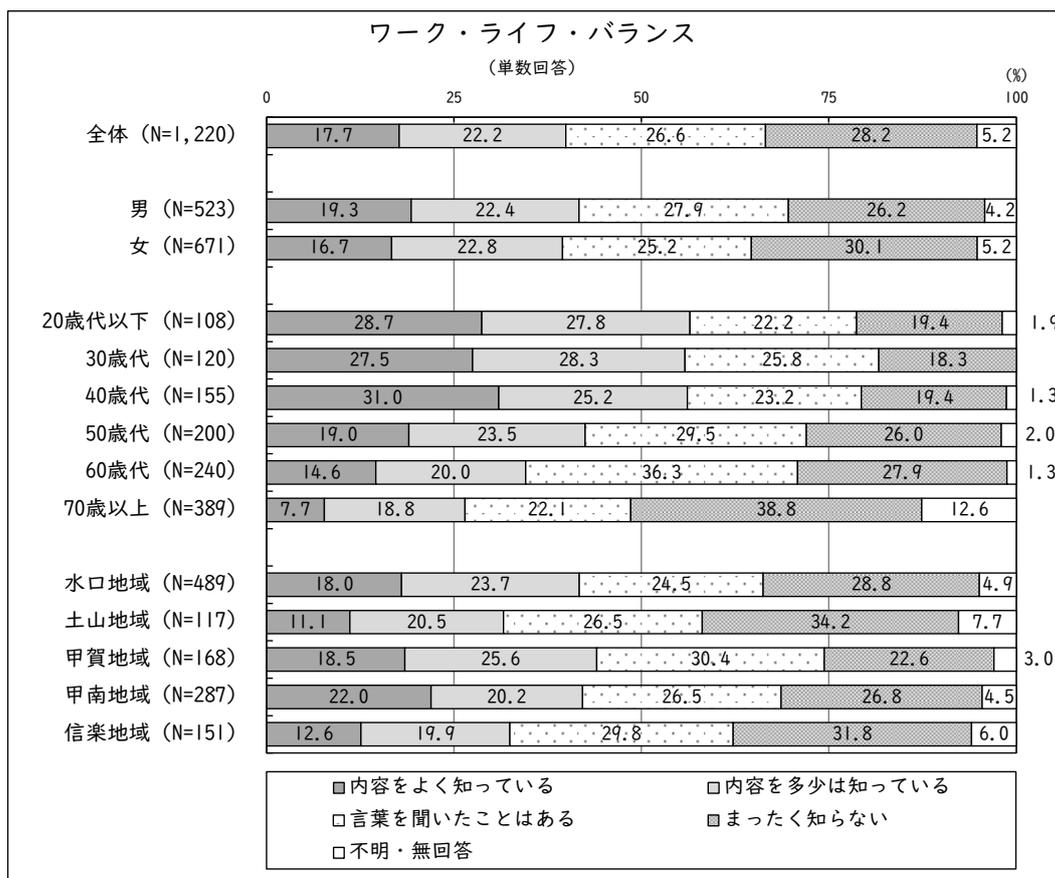
⑥ ワーク・ライフ・バランス

「まったく知らない」が 28.2%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 39.9%となっている。

性別にみると、男性は「言葉を聞いたことはある」が、女性は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 41.7%、女性が 39.5%となっている。

年代別にみると、20 歳代以下、40 歳代は「内容をよく知っている」が、30 歳代は「言葉を聞いたことがある」が、40 歳代以下は「内容をよく知っている」が、50 歳代、60 歳代は「言葉を聞いたことがある」が、70 歳以上は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 56.5%、以下、40 歳代が 56.2%で、30 歳代が 55.8%、50 歳代が 42.5%、60 歳代が 34.6%、70 歳以上が 26.5%と続いている。20 歳代以下、70 歳以上は「まったく知らない」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、甲賀地域は「言葉を聞いたことがある」が、その他の地域は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 44.1%、以下、甲南地域が 42.2%、水口地域が 41.7%、信楽地域が 32.5%、土山地域が 31.6%と続いている。



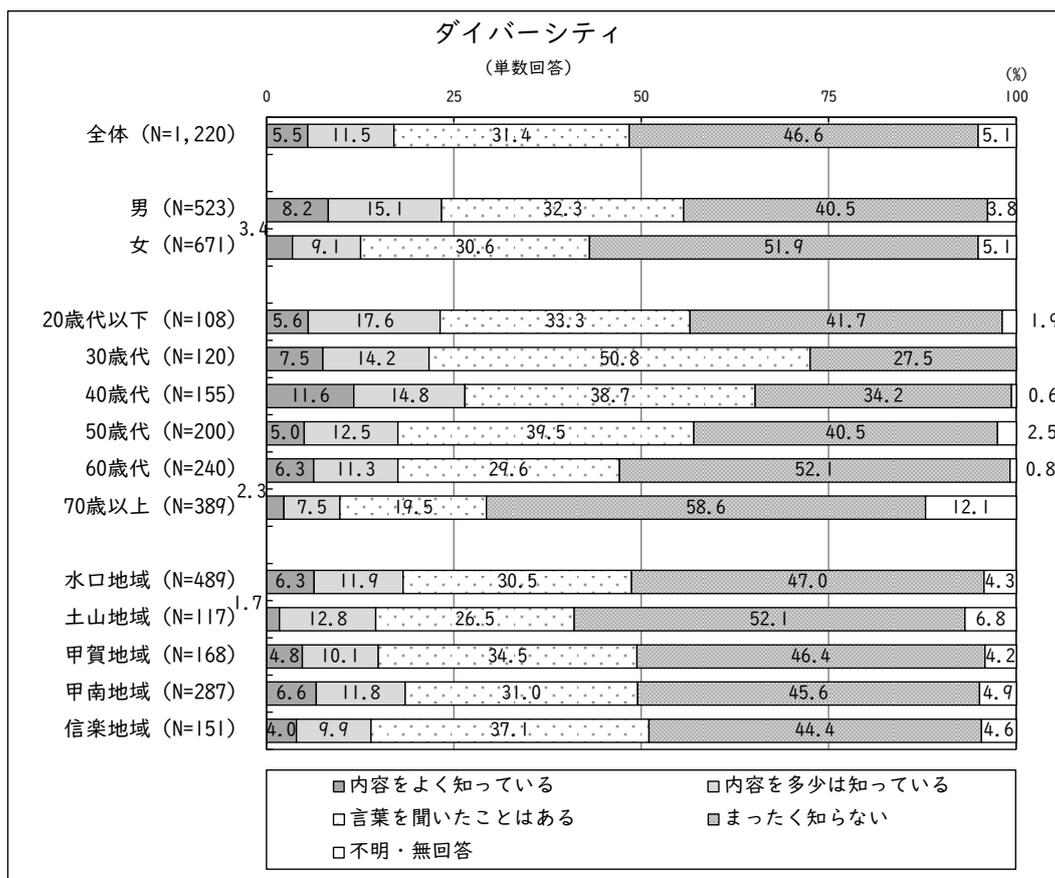
⑦ ダイバーシティ

「まったく知らない」が 46.6%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 17.0%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 23.3%、女性が 12.5%と、男性が多くなっている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代は「言葉を聞いたことがある」が、20 歳代以下、50 歳代以上は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 26.4%、以下、20 歳代以下が 23.2%で、30 歳代が 21.7%、60 歳代が 17.6%、50 歳代が 17.5%、70 歳以上が 9.8%と続いている。70 歳以上は半数以上が「まったく知らない」となっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 18.4%、以下、水口地域が 18.2%、甲賀地域が 14.9%、土山地域が 14.5%、信楽地域が 13.9%と続いている。土山地域は半数以上が「まったく知らない」となっている。



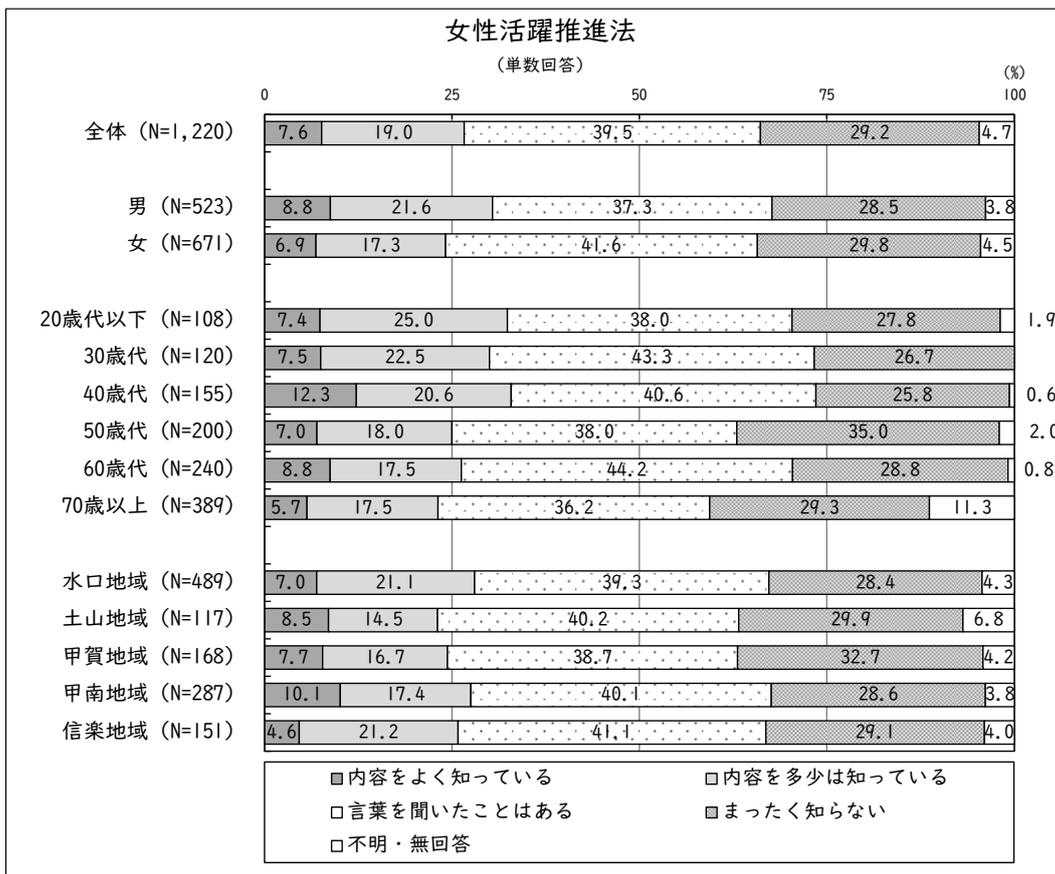
⑧ 女性活躍推進法

「言葉を聞いたことはある」が 39.5%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 26.6%となっている。また、「まったく知らない」が 29.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「言葉を聞いたことはある」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が30.4%、女性が24.2%となっている。

年代別にみると、すべての年代において「言葉を聞いたことはある」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは40歳代で32.9%、以下、20歳代以下が32.4%、30歳代が30.0%で、60歳代が26.3%、50歳代が25.0%、70歳以上が23.2%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「言葉を聞いたことはある」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは水口地域で28.0%、以下、甲南地域で27.5%、信楽地域が25.8%、甲賀地域が24.4%、土山地域が23.0%と続いている。



2 男女共同参画・ワーク・ライフ・バランス・女性活躍について

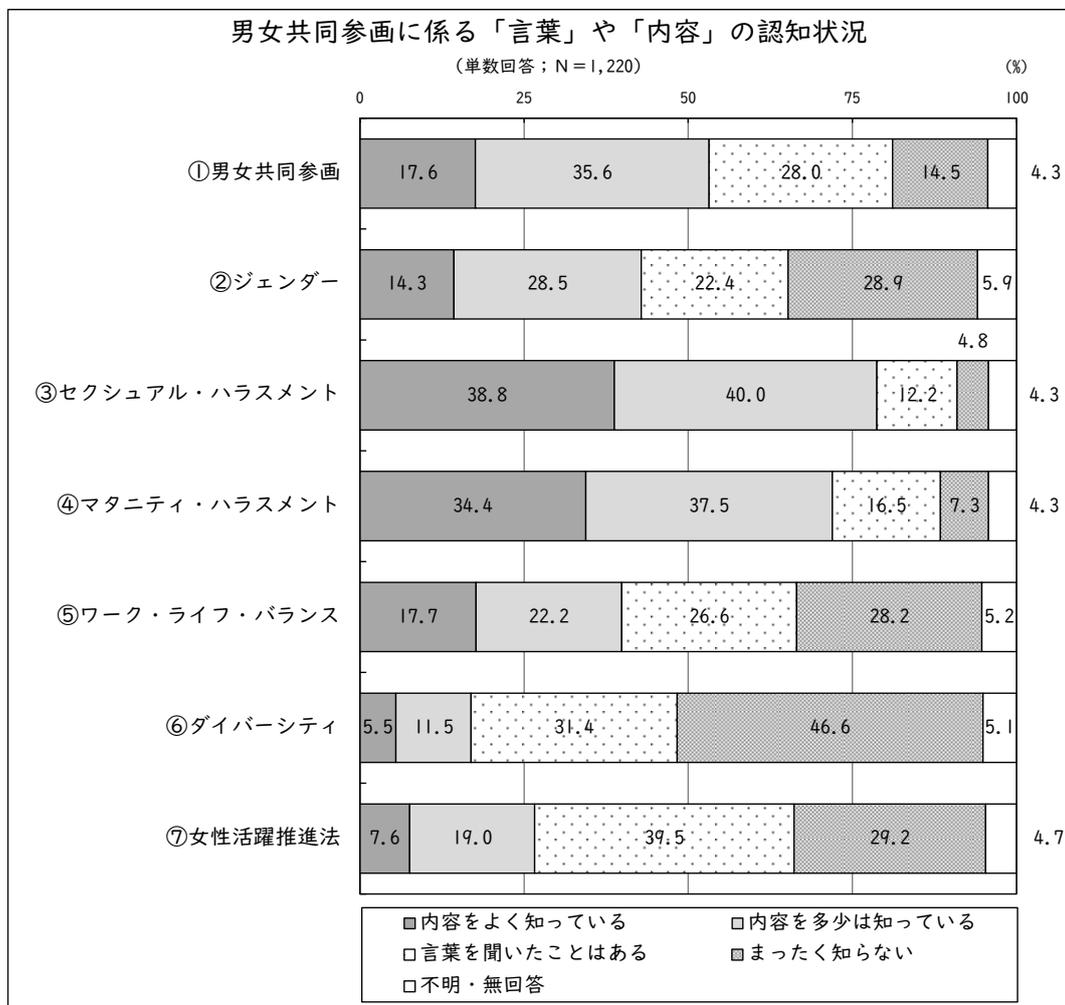
(1) 男女共同参画に係る「言葉」や「内容」の認知状況

① 男女共同参画に係る「言葉」や「内容」の認知

「問 10」 あなたは、次にあげる「言葉」や「内容」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

男女共同参画に係る「言葉」や「内容」の認知状況について、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合をみると、最も多いのは「セクシュアル・ハラスメント」で78.8%、以下、「マタニティ・ハラスメント」が71.9%、「男女共同参画」が53.2%と続いている。

「まったく知らない」についてみると、「ダイバーシティ」が46.6%で最も多く、以下、「女性活躍推進法」が29.2%、「ジェンダー」が28.9%と続いている。



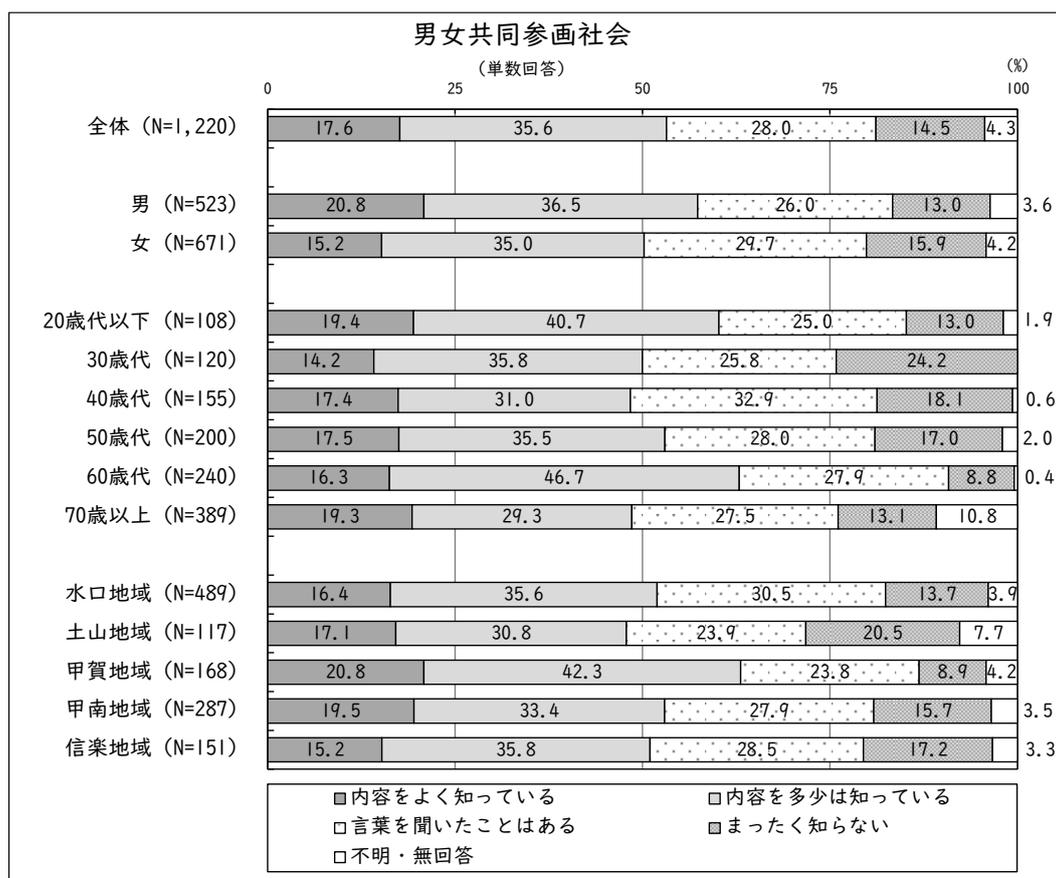
② 男女共同参画社会

「内容を多少は知っている」が 35.6%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 53.2%となっている。また、「まったく知らない」が 14.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 57.3%、女性が 50.2%と、男性が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 63.0%、以下、20 歳代以下が 60.1%、50 歳代が 53.0%、30 歳代が 50.0%、70 歳以上が 48.6%、40 歳代が 48.4%と続いている。30 歳代で「まったく知らない」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 63.1%、以下、甲南地域が 52.9%、水口地域が 52.0%、信楽地域が 51.0%、土山地域が 47.9%、と続いている。土山地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



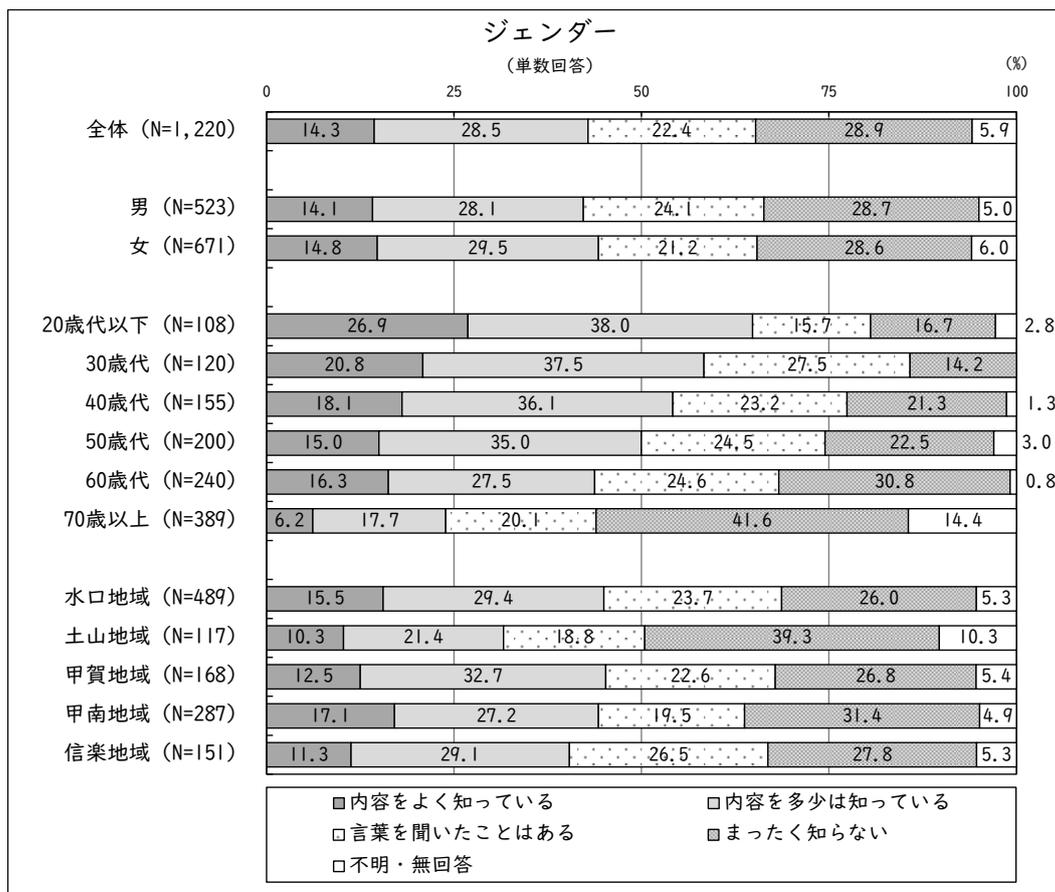
③ ジェンダー

「まったく知らない」が 28.9%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 42.8%となっている。

性別にみると、男性は「まったく知らない」が、女性は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が42.2%、女性が44.3%となっている。

年代別にみると、50歳代以下は「内容を多少は知っている」が、60歳代以上は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で64.9%、以下、30歳代が58.3%、40歳代が58.3%、50歳代が54.2%、60歳代が43.8%、70歳以上が23.9%と続いている。年代があがるほど『知っている』が少なくなっている。70歳以上は「まったく知らない」が41.6%となっている。

居住地域別にみると、水口地域、甲賀地域、信楽地域では「内容を多少は知っている」が、その他の地域では「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で45.2%、以下、水口地域が44.9%、甲南地域が44.3%、信楽地域が40.4%、土山地域が31.7%と続いている。土山地域、甲南地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



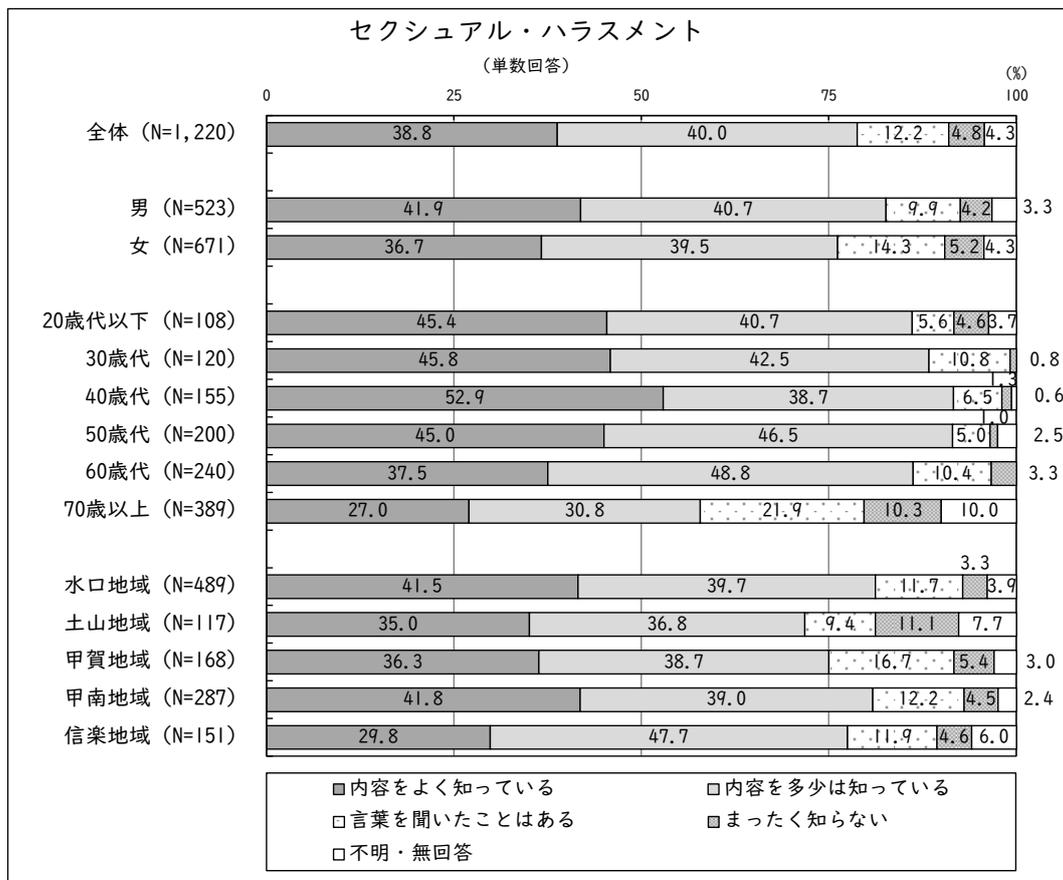
④ セクシャル・ハラスメント

「内容を多少は知っている」が40.0%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は78.8%となっている。また、「まったく知らない」が4.8%となっている。

性別にみると、男性は「内容をよく知っている」が、女性は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が82.6%、女性が76.2%と男性が多くなっている。

年代別にみると、40歳代以下は「内容をよく知っている」が、50歳代以上は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは40歳代で91.6%、以下、50歳代が91.5%、30歳代が88.3%、60歳代が86.3%、20歳代以下が86.1%、70歳以上が57.8%と続いている。70歳以上は「まったく知らない」が10.3%となっている。

居住地域別にみると、水口地域、甲南地域では「内容を多少は知っている」が、その他の地域では「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは水口地域で81.2%で、以下、甲南地域が80.8%、信楽地域が77.5%、甲賀地域で75.0%、土山地域が71.8%と続いている。土山地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



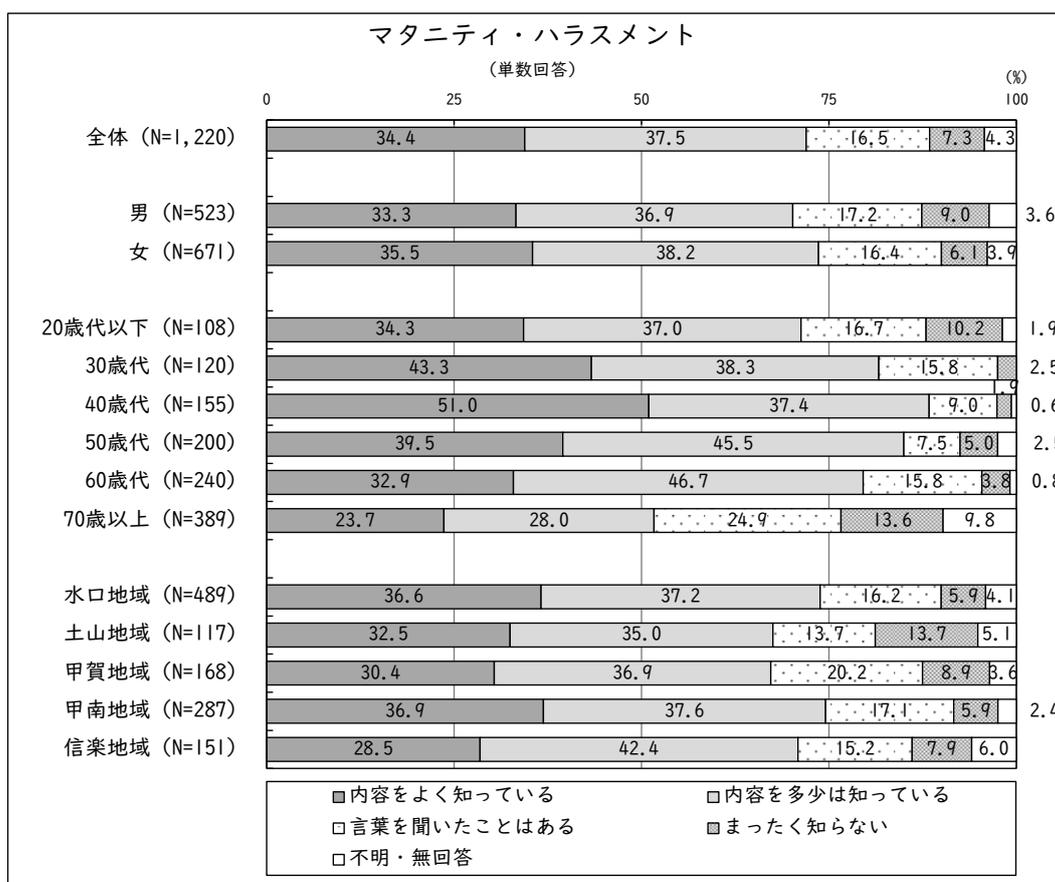
⑤ マタニティ・ハラスメント

「内容を多少は知っている」が 37.5%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 71.9%となっている。また、「まったく知らない」が 7.3%となっている。

性別にみると、男性は「内容をよく知っている」が、女性は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 70.2%、女性が 73.7%となっている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代以下は「内容をよく知っている」が、その他の年代は「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 88.4%、以下、50 歳代が 85.0%、30 歳代が 81.6%、60 歳代が 79.6%、20 歳代以下が 71.3%、70 歳以上が 51.7%と続いている。20 歳代以下、70 歳以上は「まったく知らない」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「内容を多少は知っている」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 74.5%、以下、水口地域が 73.8%、信楽地域が 70.9%、土山地域が 67.5%、甲賀地域で 67.3%と続いている。土山地域で「まったく知らない」が他の地域よりも多くなっている。



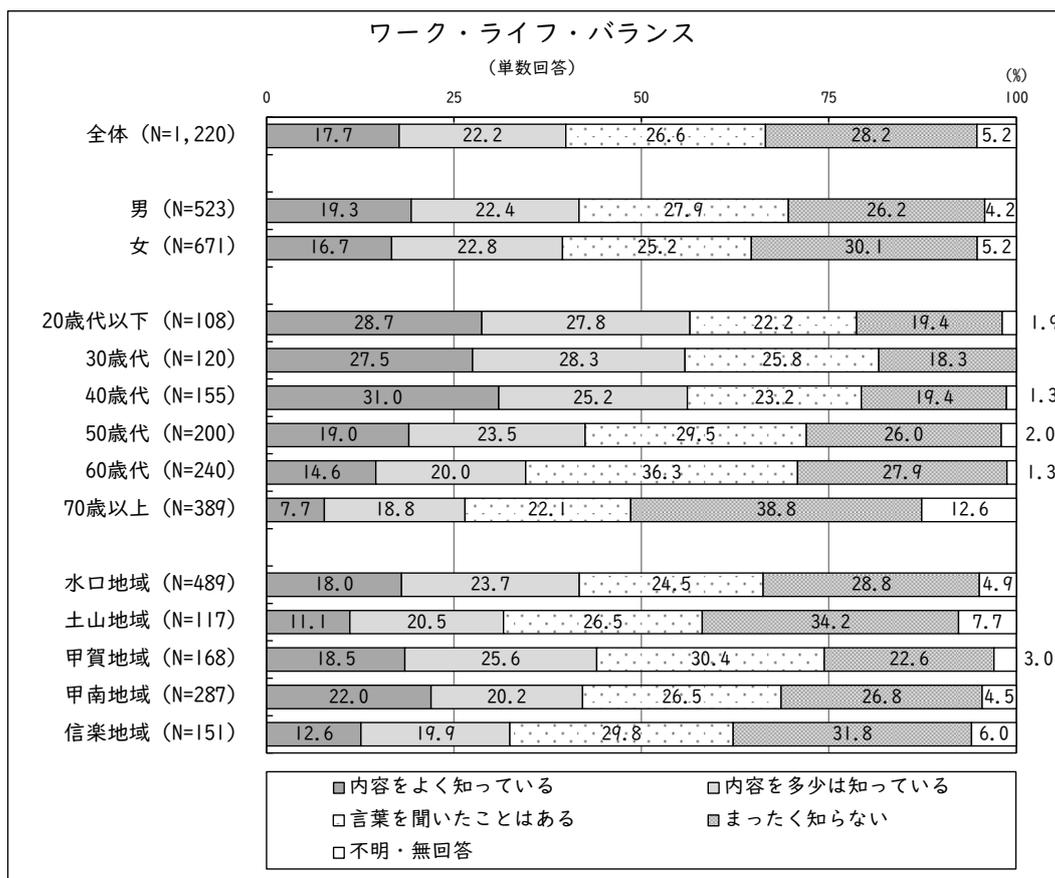
⑥ ワーク・ライフ・バランス

「まったく知らない」が 28.2%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 39.9%となっている。

性別にみると、男性は「言葉を聞いたことはある」が、女性は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 41.7%、女性が 39.5%となっている。

年代別にみると、20 歳代以下、40 歳代は「内容をよく知っている」が、30 歳代は「言葉を聞いたことがある」が、40 歳代以下は「内容をよく知っている」が、50 歳代、60 歳代は「言葉を聞いたことがある」が、70 歳以上は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 56.5%、以下、40 歳代が 56.2%で、30 歳代が 55.8%、50 歳代が 42.5%、60 歳代が 34.6%、70 歳以上が 26.5%と続いている。20 歳代以下、70 歳以上は「まったく知らない」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、甲賀地域は「言葉を聞いたことがある」が、その他の地域は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 44.1%、以下、甲南地域が 42.2%、水口地域が 41.7%、信楽地域が 32.5%、土山地域が 31.6%と続いている。



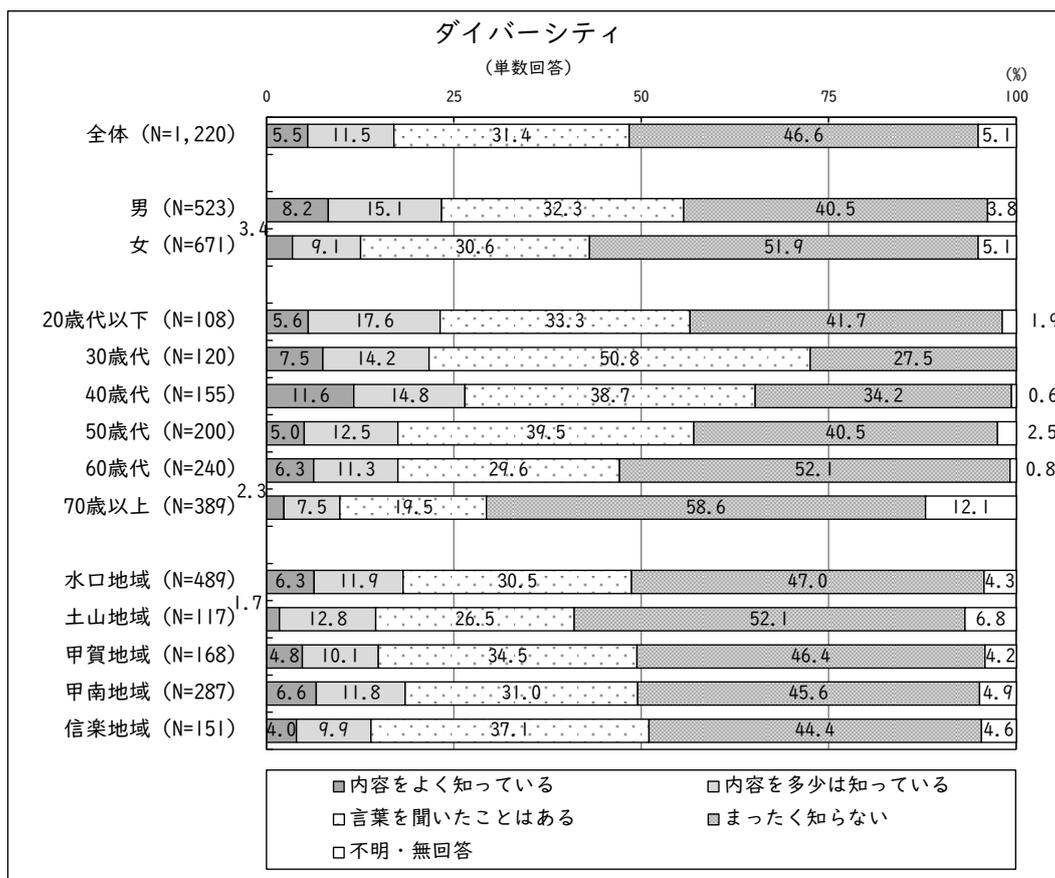
⑦ ダイバーシティ

「まったく知らない」が 46.6%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 17.0%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が 23.3%、女性が 12.5%と、男性が多くなっている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代は「言葉を聞いたことがある」が、20 歳代以下、50 歳代以上は「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 26.4%、以下、20 歳代以下が 23.2%で、30 歳代が 21.7%、60 歳代が 17.6%、50 歳代が 17.5%、70 歳以上が 9.8%と続いている。70 歳以上は半数以上が「まったく知らない」となっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「まったく知らない」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 18.4%、以下、水口地域が 18.2%、甲賀地域が 14.9%、土山地域が 14.5%、信楽地域が 13.9%と続いている。土山地域は半数以上が「まったく知らない」となっている。



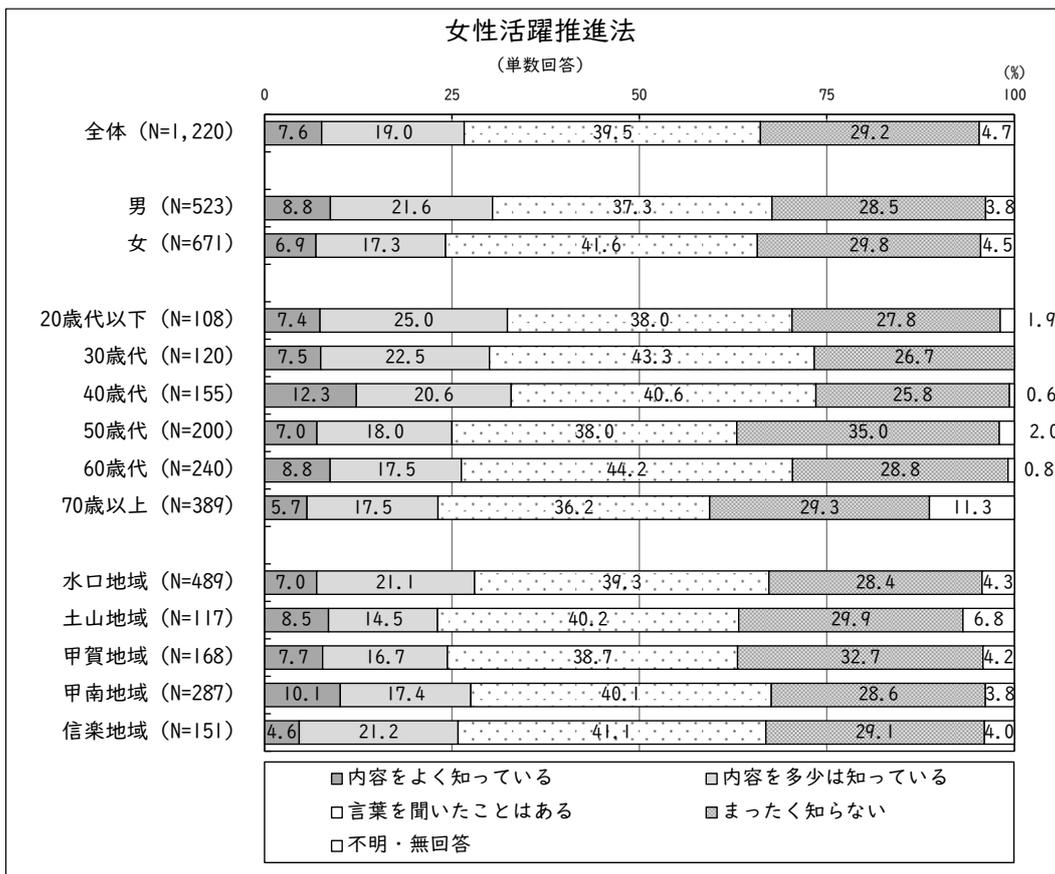
⑧ 女性活躍推進法

「言葉を聞いたことはある」が 39.5%で最も多く、「内容をよく知っている」と「内容を多少は知っている」を合わせた『知っている』の割合は 26.6%となっている。また、「まったく知らない」が 29.2%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「言葉を聞いたことはある」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、男性が30.4%、女性が24.2%となっている。

年代別にみると、すべての年代において「言葉を聞いたことはある」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは40歳代で32.9%、以下、20歳代以下が32.4%、30歳代が30.0%で、60歳代が26.3%、50歳代が25.0%、70歳以上が23.2%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「言葉を聞いたことはある」が最も多くなっている。また、『知っている』の割合をみると、最も多いのは水口地域で28.0%、以下、甲南地域で27.5%、信楽地域が25.8%、甲賀地域が24.4%、土山地域が23.0%と続いている。



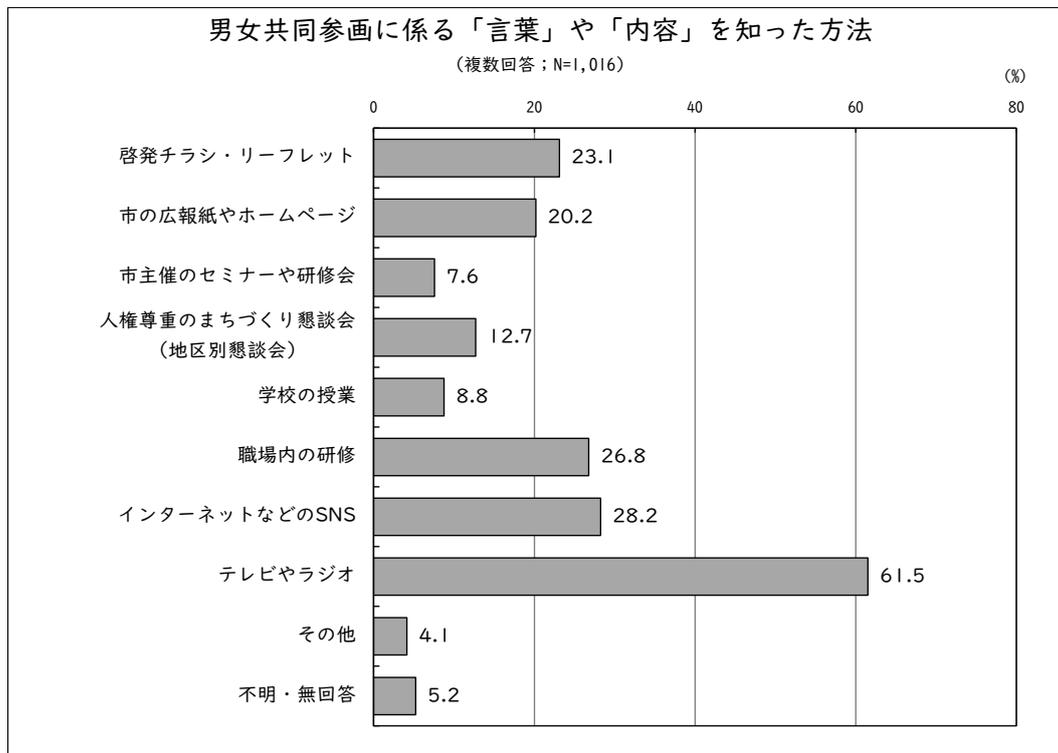
<問 10-1> 各項目で「内容をよく知っている」または「内容を多少は知っている」と回答された方におたずねします。あなたは、それぞれの内容についてどのような方法でご存じになりましたか。(あてはまるものすべてに○)

男女共同参画に係る「言葉」や「内容」を知った方法は、「テレビやラジオ」が 61.5%で最も多くなっており、以下、「インターネットなどの SNS」が 28.2%、「職場内の研修」が 26.8%と続いている。

性別にみると、男性は「テレビやラジオ」が少なくなっている。

年代別にみると、20 歳代以下では「学校の授業」が、他の年代では「テレビやラジオ」が最も多くなっている。また、他の年代よりも、30 歳代～50 歳代では「職場内の研修」が多く、40 歳代以下では「インターネットなどの SNS」が多く、60 歳代以上では「啓発チラシ・リーフレット」「市の広報紙やホームページ」が多く、70 歳以上では「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「テレビやラジオ」が最も多くなっている。また、他の地域よりも、土山地域は「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」「テレビやラジオ」が多く、「職場内の研修」「インターネットなどの SNS」が少なくなっている。甲賀地域は「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」が多くなっている。甲南地域は「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」が少なくなっている。信楽地域は「啓発チラシ・リーフレット」が多く、「市の広報紙やホームページ」「職場内の研修」が少なくなっている。



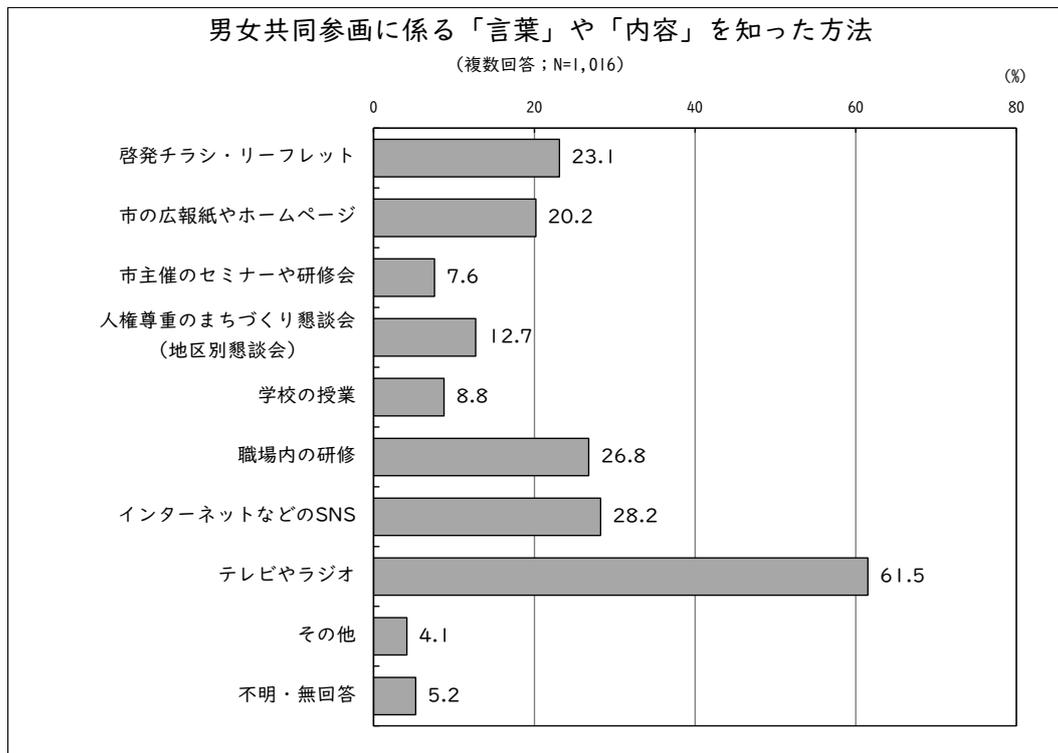
<問 10-1> 各項目で「内容をよく知っている」または「内容を多少は知っている」と回答された方におたずねします。あなたは、それぞれの内容についてどのような方法でご存じになりましたか。(あてはまるものすべてに○)

男女共同参画に係る「言葉」や「内容」を知った方法は、「テレビやラジオ」が 61.5%で最も多くなっており、以下、「インターネットなどの SNS」が 28.2%、「職場内の研修」が 26.8%と続いている。

性別にみると、男性は「テレビやラジオ」が少なくなっている。

年代別にみると、20 歳代以下では「学校の授業」が、他の年代では「テレビやラジオ」が最も多くなっている。また、他の年代よりも、30 歳代～50 歳代では「職場内の研修」が多く、40 歳代以下では「インターネットなどの SNS」が多く、60 歳代以上では「啓発チラシ・リーフレット」「市の広報紙やホームページ」が多く、70 歳以上では「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「テレビやラジオ」が最も多くなっている。また、他の地域よりも、土山地域は「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」「テレビやラジオ」が多く、「職場内の研修」「インターネットなどの SNS」が少なくなっている。甲賀地域は「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」が多くなっている。甲南地域は「人権尊重のまちづくり懇談会(地区別懇談会)」が少なくなっている。信楽地域は「啓発チラシ・リーフレット」が多く、「市の広報紙やホームページ」「職場内の研修」が少なくなっている。



	啓発チラシ・リーフレット	市の広報紙やホームページ	市主催のセミナーや研修会	人権尊重のまちづくり懇談会（地区別懇談会）	学校の授業	職場内の研修	インターネットなどのSNS	テレビやラジオ	その他	不明・無回答
全体 (N=1,016)	23.1	20.2	7.6	12.7	8.8	26.8	28.2	61.5	4.1	5.2
男 (N=447)	21.5	19.2	7.2	16.1	8.1	29.1	29.5	56.2	6.0	2.5
女 (N=551)	24.3	21.1	8.0	9.8	9.6	24.5	27.4	66.2	2.5	3.1
20歳代以下 (N=97)	5.2	0.0	1.0	0.0	61.9	19.6	53.6	49.5	1.0	0.0
30歳代 (N=107)	11.2	5.6	0.9	0.9	18.7	42.1	56.1	60.7	3.7	0.9
40歳代 (N=145)	14.5	6.9	6.2	5.5	2.8	40.7	42.1	63.4	2.1	2.1
50歳代 (N=187)	27.3	19.3	7.0	11.2	0.5	34.2	31.0	59.9	3.2	3.7
60歳代 (N=216)	31.0	30.1	10.2	14.8	0.9	28.2	19.0	62.5	6.0	2.8
70歳以上 (N=259)	30.5	34.0	11.6	25.1	0.8	8.9	5.8	66.0	5.8	4.6
水口地域 (N=415)	22.7	22.7	5.1	12.5	10.6	29.6	32.0	59.3	4.3	1.7
土山地域 (N=89)	21.3	21.3	9.0	23.6	5.6	19.1	21.3	67.4	3.4	3.4
甲賀地域 (N=139)	25.2	19.4	11.5	19.4	6.5	26.6	24.5	58.3	6.5	5.8
甲南地域 (N=245)	21.2	19.6	6.9	6.1	7.8	29.8	28.6	64.1	4.1	2.9
信楽地域 (N=123)	28.5	13.8	11.4	9.8	8.9	17.1	25.2	65.9	1.6	2.4

(2) 「男性は仕事」「女性は家事・育児・介護」という考え方について

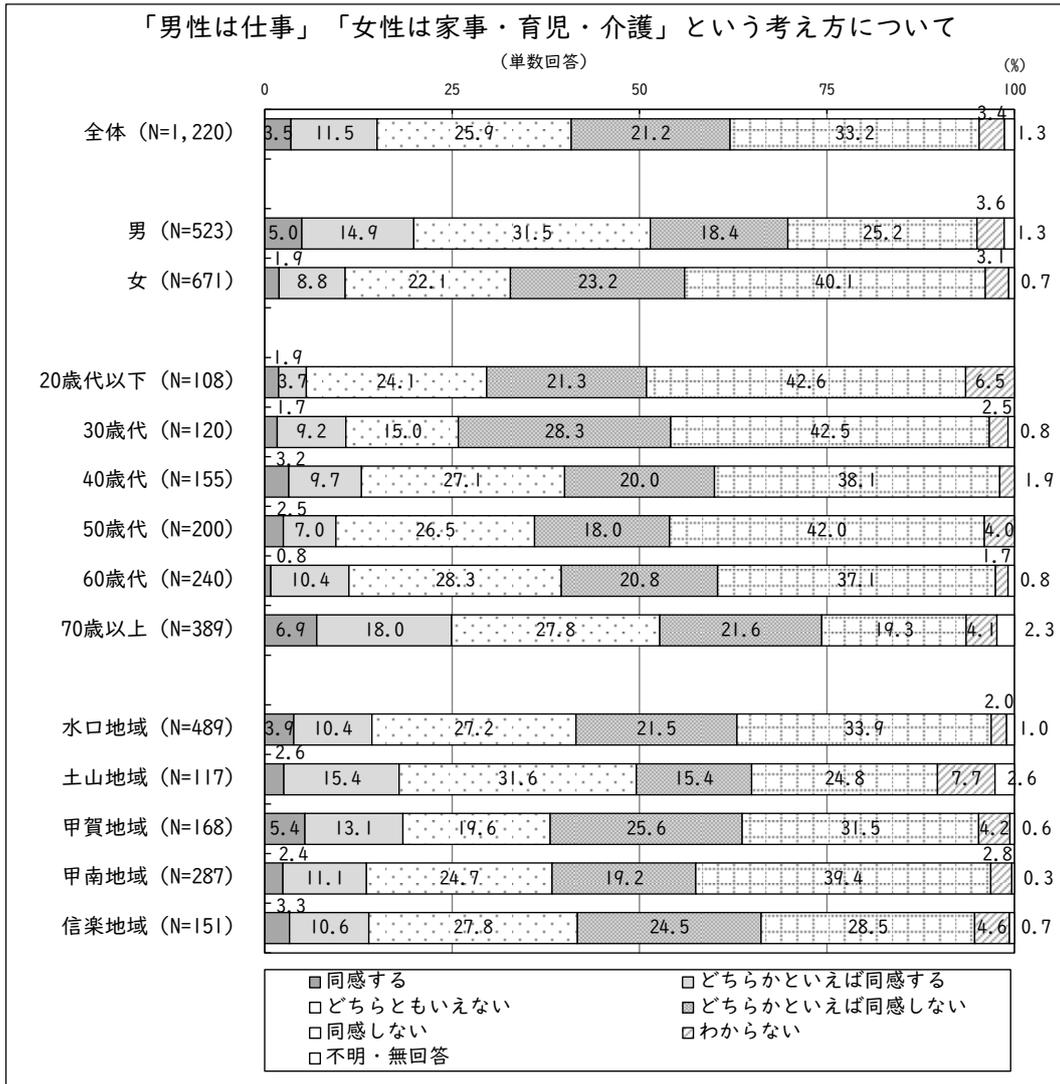
「問 11」 「男性は仕事」「女性は家事・育児・介護」という考え方について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

「男性は仕事」「女性は家事・育児・介護」という考え方については、「同感しない」が 33.2%で最も多くなっており、「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」を合わせた『同感できない』の割合は 54.4%となっている。

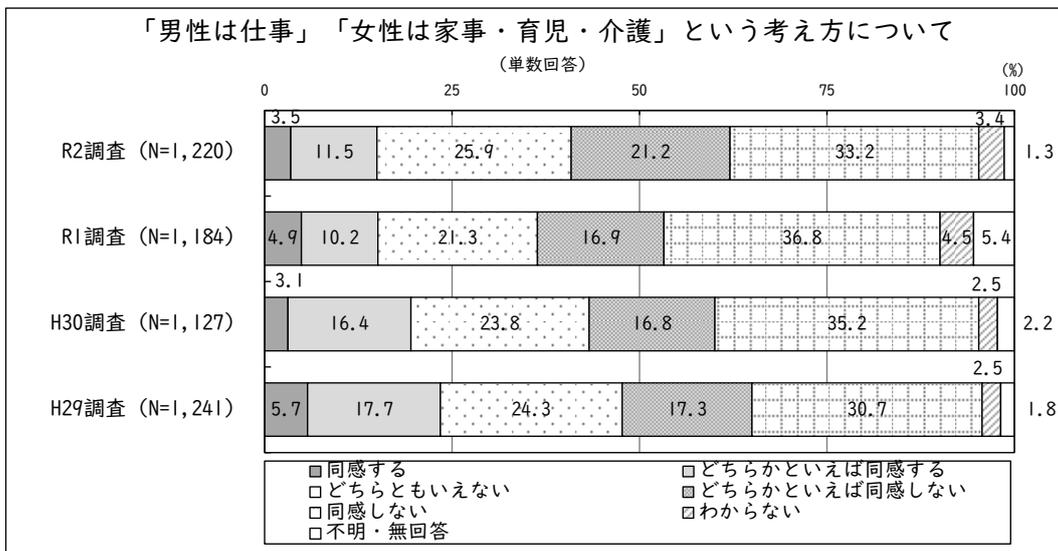
性別にみると、男性では「どちらともいえない」が、女性では「同感しない」が最も多くなっている。また、『同感できない』の割合をみると、男性が 43.6%、女性が 63.3%となっており、女性の方が高くなっている。

年代別にみると 60 歳代以下では「同感しない」が、70 歳代以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。また、『同感できない』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 70.8%、以下、20 歳代以下で 63.9%、50 歳代で 60.0%と続いている。

居住地域別にみると、土山地域では「どちらともいえない」が、他の地域では「同感しない」が最も多くなっている。また、『同感できない』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 58.6%、以下、甲賀地域で 57.1%、水口地域で 55.4%、信楽地域で 53.0%、土山地域で 40.2%と続いている。



過去3年度分の調査と比較すると、『同意できない』は増加し続けている。



(3) 「ワーク・ライフ・バランス」の考え方について

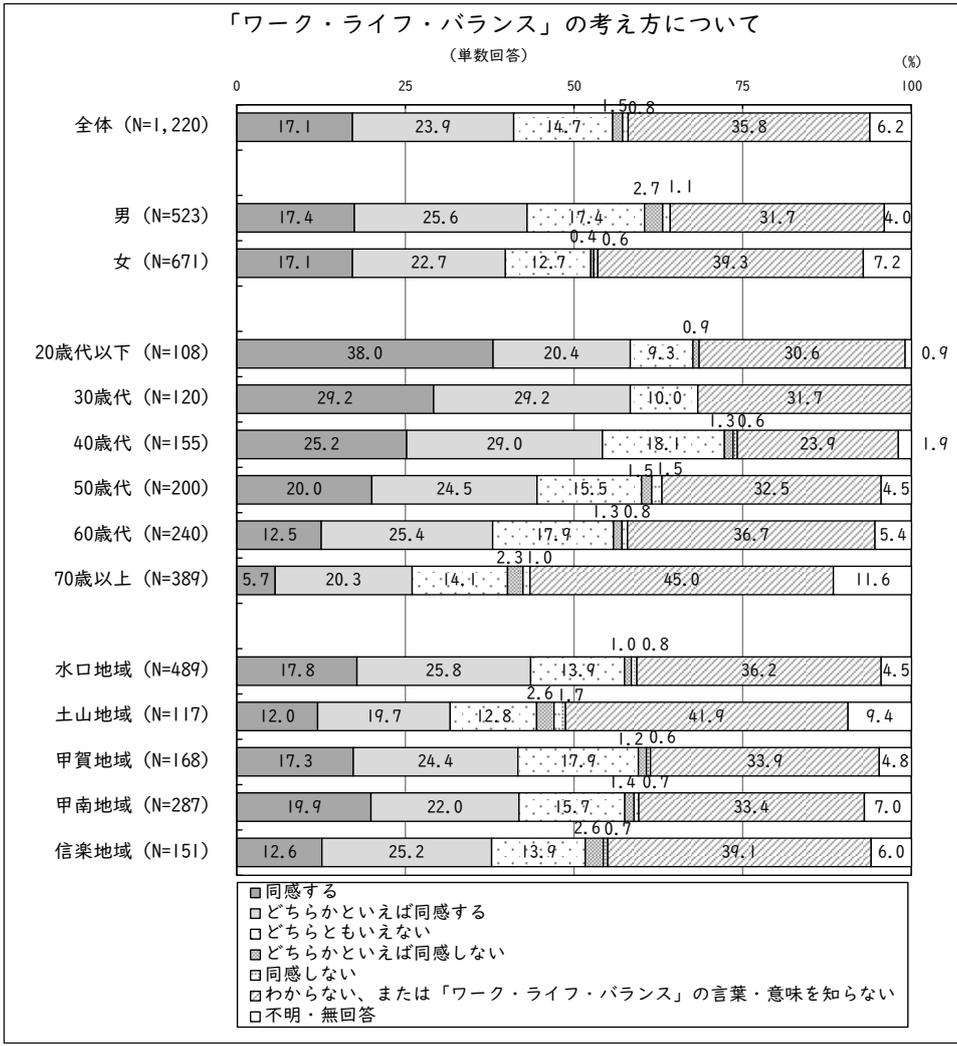
「問 12」 「ワーク・ライフ・バランス」の考え方について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

「ワーク・ライフ・バランス」の考え方については、「わからない、または「ワーク・ライフ・バランス」の言葉・意味を知らない」が 35.8%で最も多くなっており、「同感する」と「どちらかといえば同感する」を合わせた『同感できる』の割合は 41.0%となっている。

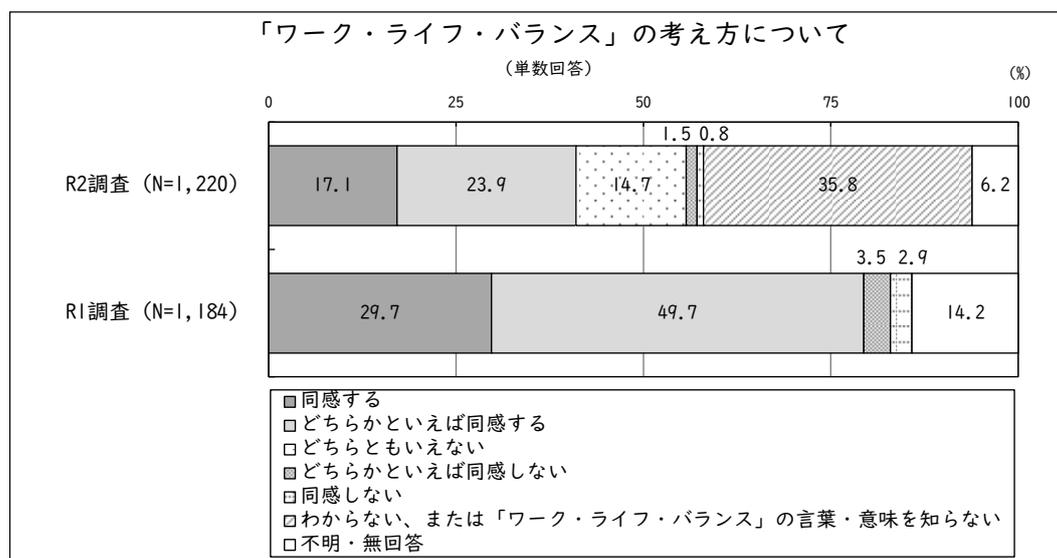
性別にみると、男性、女性ともに「わからない、または「ワーク・ライフ・バランス」の言葉・意味を知らない」が最も多くなっている。また、『同感できる』の割合をみると、男性が 43.0%、女性が 39.8%となっている。

年代別にみると、20 歳代以下では「同感する」が、40 歳代では「どちらかといえば同感する」が、他の年代では「わからない、または「ワーク・ライフ・バランス」の言葉・意味を知らない」が最も多くなっている。また、『同感できる』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下と 30 歳代で 58.4%、以下、40 歳代が 54.2%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「わからない、または「ワーク・ライフ・バランス」の言葉・意味を知らない」が最も多くなっている。また、『同感できる』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 43.6%、以下、甲南地域が 41.9%、甲賀地域が 41.7%、信楽地域が 37.8%、土山地域が 31.7%と続いている。



前回の調査と比較すると、『同感できる』の割合は増加している。



※ R1 調査では「どちらともいえない」「わからない、またはワーク・ライフ・バランス」の言葉・意味を知らない」の選択肢がないため、今回調査(R2 調査)との比較には注意が必要である。

(4) 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について

《問 13》 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。また、現実にはどうですか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(番号を1つ記入)

① 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度【希望】

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先度についての希望は、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」が 28.3%で最も多くなっており、以下、「「仕事」と「家庭生活」を共に優先」が 19.7%、「「家庭生活」を優先」が 16.8%と続いている。

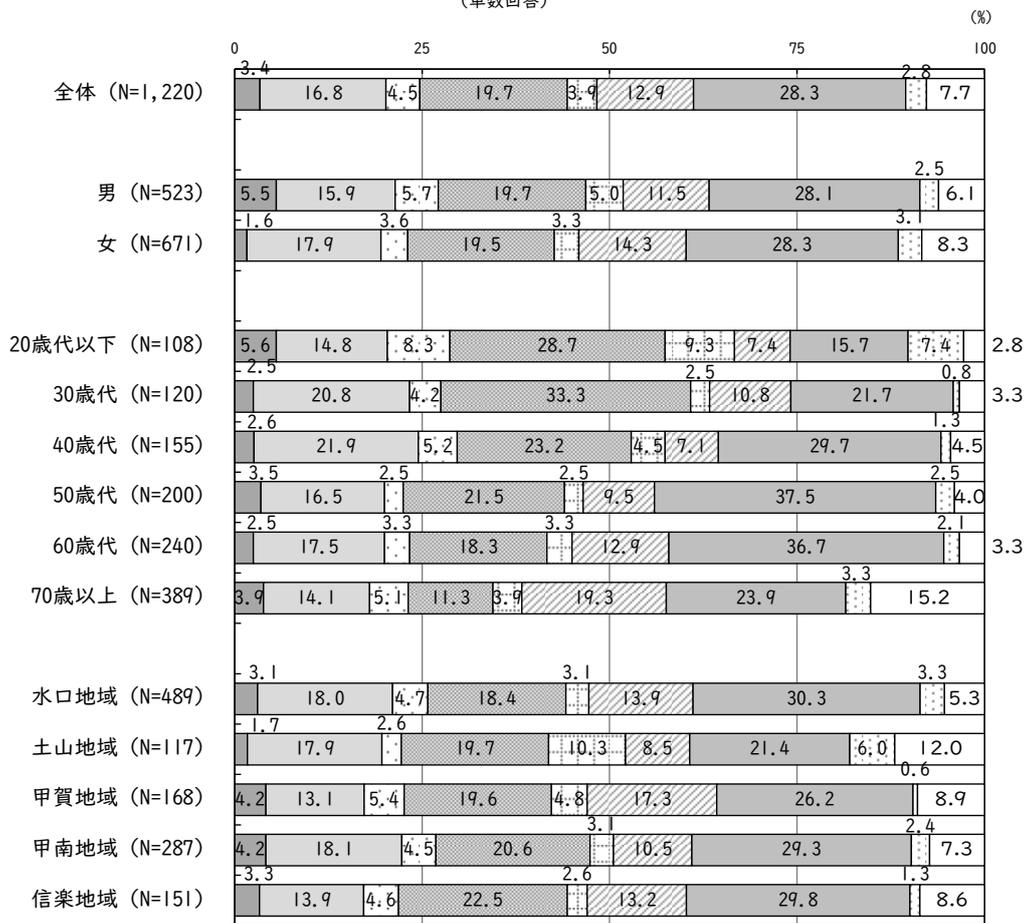
性別にみると、男性、女性ともに「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」が最も多くなっている。

年代別にみると、30 歳代以下は「「仕事」と「家庭生活」を共に優先」が最も多く、50 歳代以上は「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」が最も多くなっている。年代があがるにつれて「「仕事」と「家庭生活」を共に優先」が減少し、「「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」が増加する傾向にある。

居住地域別にみると、すべての地域において「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」が最も多くなっている。また、土山地域は「「仕事」と「地域・個人の生活」を共に優先」が多く、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」が少ない。

生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
【希望】

(単数回答)



- 「仕事」を優先
- 「家庭生活」を優先
- 「地域・個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」を共に優先
- 「仕事」と「地域・個人の生活」を共に優先
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先
- わからない
- 不明・無回答

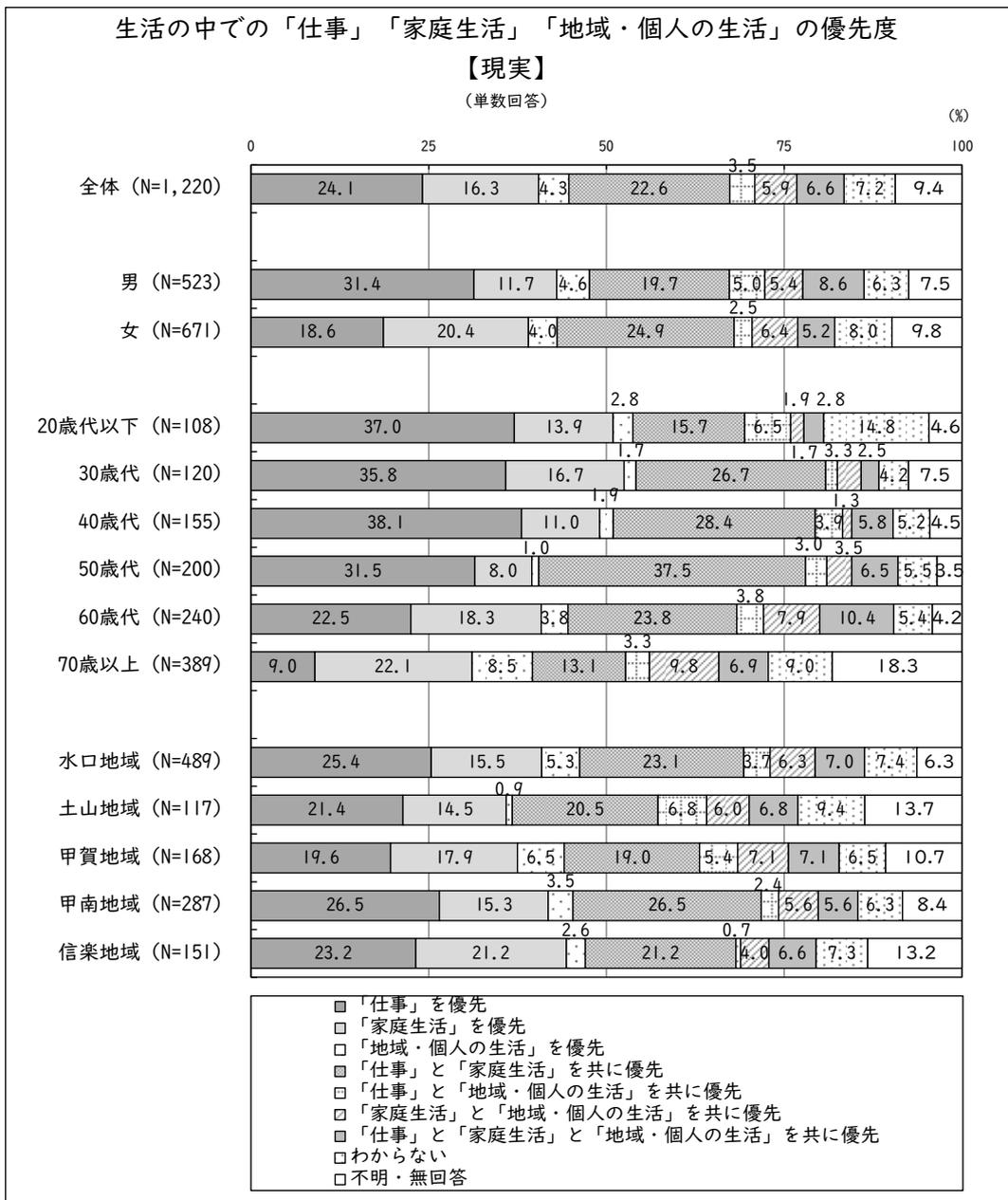
② 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度【現実】

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先度についての現実には、「仕事」を優先が 24.1%で最も多くなっており、以下、「仕事」と「家庭生活」を共に優先が 22.6%、「家庭生活」を優先が 16.3%と続いている。

性別にみると、男性は「仕事」を優先が、女性は「仕事」と「家庭生活」を共に優先が最も多くなっている。また、女性は「家庭生活」を優先が多くなっている。

年代別にみると、40歳代以下は「仕事」を優先が、50歳代～60歳代は「仕事」と「家庭生活」を共に優先が、70歳代以上は「家庭生活」を優先が最も多くなっている。

居住地域別にみると、いずれの地域においても「仕事」を優先が最も多くなっている。



(5) 女性の就労(起業含む)について

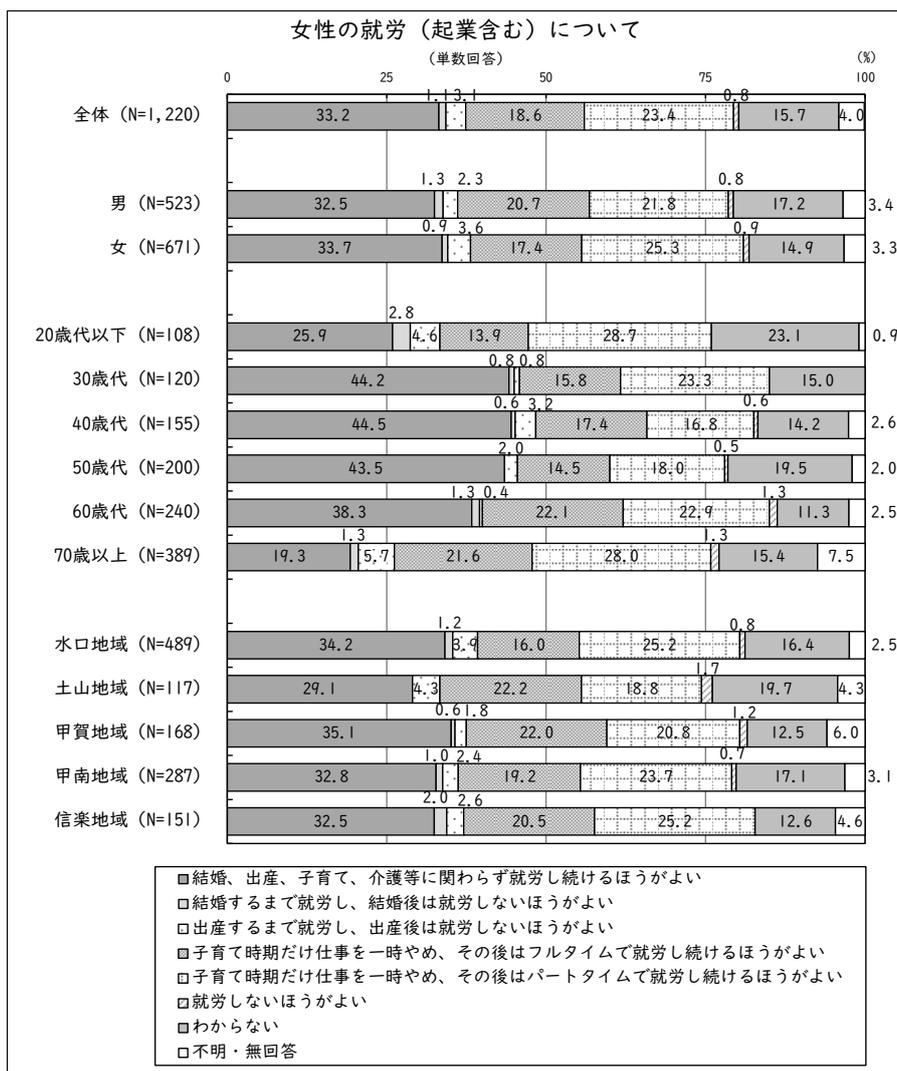
「問 14」 あなたは、女性が就労(起業含む)することについてどのように思われますか。
(○は1つだけ)

女性の就労(起業含む)については、「結婚、出産、子育て、介護等に関わらず就労し続けるほうがよい」が 33.2%で最も多くなっており、以下、「子育て時期だけ仕事を一時やめ、その後はパートタイムで就労し続けるほうがよい」が 23.4%、「子育て時期だけ仕事を一時やめ、その後はフルタイムで就労し続けるほうがよい」が 18.6%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに、「結婚、出産、子育て、介護等に関わらず就労し続けるほうがよい」が最も多くなっている。

年代別にみると、20 歳代以下は「子育て時期だけ仕事を一時やめ、その後はパートタイムで就労し続けるほうがよい」が、30 歳代～60 歳代は「結婚、出産、子育て、介護等に関わらず就労し続けるほうがよい」が、70 歳以上は「子育て時期だけ仕事を一時やめ、その後はパートタイムで就労し続けるほうがよい」が最も多くなっている。また、「就労しないほうがよい」はどの年代も少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「結婚、出産、子育て、介護等に関わらず就労し続けるほうがよい」が最も多くなっている。



(6) 女性が働き続けたり、再就職するうえで必要なこと

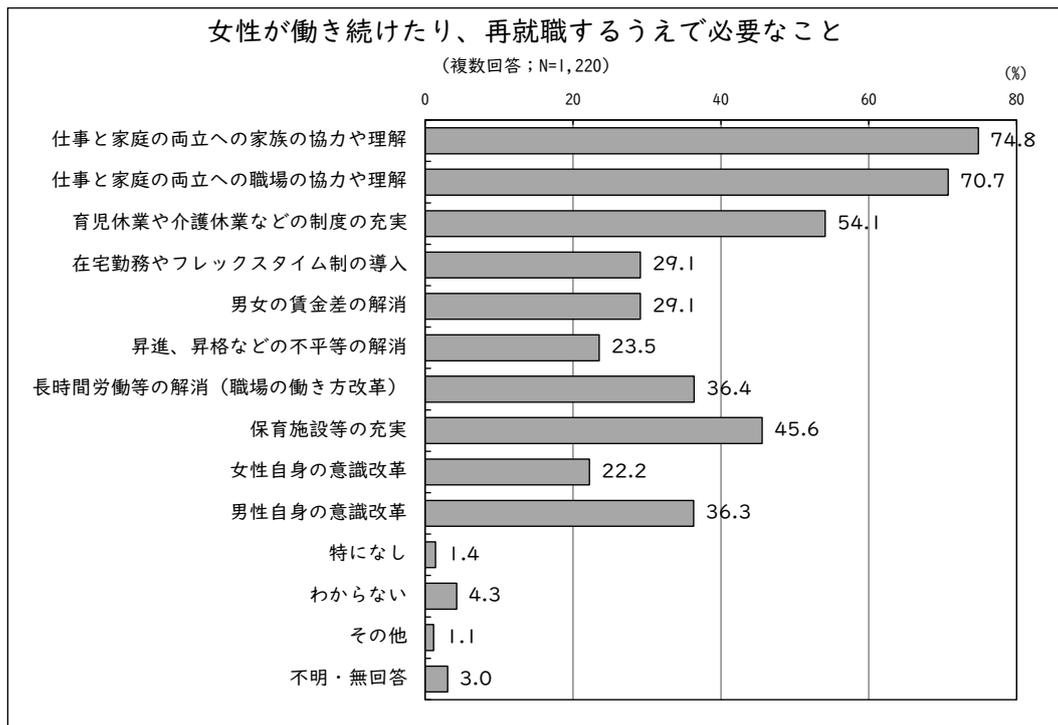
《問 15》 あなたは、女性が働き続けたり、再就職するうえで必要なことはどのようなことだと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

女性が働き続けたり、再就職するうえで必要なことは、「仕事と家庭の両立への家族の協力や理解」が 74.8%で最も多くなっており、以下、「仕事と家庭の両立への職場の協力や理解」が 70.7%、「育児休業や介護休業などの制度の充実」が 54.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「仕事と家庭の両立への家族の協力や理解」が最も多くなっている。また、女性は「育児休業や介護休業などの制度の充実」が男性よりも多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「仕事と家庭の両立への家族の協力や理解」が最も多くなっている。また、30 歳代、40 歳代では「特になし」「わからない」を除くすべての項目が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「仕事と家庭の両立への家族の協力や理解」が最も多くなっている。また、土山地域では「仕事と家庭の両立への家族の協力や理解」「育児休業や介護休業などの制度の充実」「在宅勤務やフレックスタイム制の導入」「昇進、昇格などの不平等の解消」「保育施設等の充実」が他の地域よりも少なくなっている。



	仕事と家庭の両立への 家族の協力や理解	仕事と家庭の両立への 職場の協力や理解	育児休業などの 介護休業などの 制度の充実	在宅勤務や フレックスタイム制の導入	男女の賃金差の解消	昇進、昇格 などの 不平等の解消	長時間労働等の解消 (職場の働き方改革)	保育施設等の充実	女性自身の 意識改革	男性自身の 意識改革	特になし	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=1,220)	74.8	70.7	54.1	29.1	29.1	23.5	36.4	45.6	22.2	36.3	1.4	4.3	1.1	3.0
男 (N=523)	70.6	66.3	47.4	27.3	26.4	22.4	32.5	41.3	20.3	32.3	1.0	4.8	1.1	2.1
女 (N=671)	79.1	75.0	60.5	31.1	31.9	25.0	40.1	49.6	24.1	39.6	1.8	3.9	1.0	2.8
20歳代以下 (N=108)	68.5	76.9	64.8	35.2	24.1	20.4	42.6	44.4	10.2	31.5	0.9	8.3	1.9	0.9
30歳代 (N=120)	79.2	87.5	62.5	48.3	38.3	32.5	59.2	61.7	30.8	45.0	0.0	1.7	0.8	0.0
40歳代 (N=155)	81.3	82.6	61.3	34.2	34.8	27.7	41.3	52.9	29.0	42.6	0.0	1.9	3.2	0.6
50歳代 (N=200)	79.5	75.0	56.0	33.0	34.0	25.5	38.0	49.0	25.5	41.5	1.0	4.5	1.5	1.5
60歳代 (N=240)	83.8	74.2	63.8	32.9	35.8	27.5	40.0	52.1	26.3	42.9	0.0	2.5	0.8	0.4
70歳以上 (N=389)	65.8	55.8	39.6	15.7	19.3	17.0	23.1	33.2	16.2	26.0	3.6	5.9	0.3	6.7
水口地域 (N=489)	76.3	71.8	54.0	29.2	30.3	23.3	36.8	49.5	22.1	36.6	1.2	4.5	2.0	2.2
土山地域 (N=117)	65.0	66.7	40.2	19.7	28.2	15.4	33.3	29.1	23.9	40.2	0.9	10.3	0.9	4.3
甲賀地域 (N=168)	70.8	73.2	56.5	30.4	33.3	25.6	36.3	42.9	17.9	33.9	2.4	2.4	0.6	3.6
甲南地域 (N=287)	78.4	69.7	56.8	30.0	27.9	26.8	37.6	49.1	23.7	35.2	1.4	3.5	0.3	1.7
信楽地域 (N=151)	77.5	72.2	59.6	33.8	24.5	22.5	35.8	43.7	24.5	37.7	1.3	2.6	0.7	3.3

前回の調査と比較すると、「仕事と家庭の両立への家族の協力や理解」「仕事と家庭の両立への職場の協力や理解」「育児休業や介護休業などの制度の充実」の上位3位の項目は変わっていない。

「在宅勤務やフレックスタイム制の導入」「昇進、昇格などの不平等の解消」「長時間労働等の解消(職場の働き方改革)」「保育施設等の充実」「女性自身の意識改革」が増加している。

	仕事と家庭の両立への 家族の協力や理解	仕事と家庭の両立への 職場の協力や理解	育児休業などの 介護休業などの 制度の充実	在宅勤務や フレックスタイム制の導入	男女の賃金差の解消	昇進、昇格などの 不平等の解消	長時間労働等の解消 (職場の働き方改革)	保育施設等の充実	女性自身の 意識改革	男性自身の 意識改革	特になし	わからない	その他	不明・無回答
R2調査 (N=1,220)	74.8	70.7	54.1	29.1	29.1	23.5	36.4	45.6	22.2	36.3	1.4	4.3	1.1	3.0
R1調査 (N=1,184)	67.3	64.1	46.5	23.4	26.0	18.3	34.0	34.5	16.7	-	1.9	3.6	1.4	7.6

※ R1 調査では「男性自身の意識改革」の項目がないため、今回調査(R2 調査)との比較には注意が必要である。